

令和6年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部	中等部		学 年	1年		
教科等名	数学		グループ名	1グループ		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りのものの形に注目し、共通点を見つけて分類したり集めたりする。 ・数を数えたり、大きさや長さを比べたりする技能を身に付ける。 ・数学的活動の楽しさに気付き、学んだ内容を生活や学習に活用する態度を養う。 					
担当教員	○鷲尾 圭介 三橋 淳輝					
年間授業時数	70					
使用教科書	教育出版 数学☆☆☆☆					
月	単元(題材)名	指導時数	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
通年	カレンダー学習 個別学習	通年		<ul style="list-style-type: none"> ・日にち・曜日 ・31までの数唱 ・季節や1年間の行事 <ul style="list-style-type: none"> ・課題に応じて、数え、マッチング、計算などの個別課題に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日にちを理解できる。 ・日にちを週の予定と合わせて考えることができる。 ・カレンダーで行事を確認するなど、日常生活で活用しようとする。 ・基本的な知識及び技能の向上。 ・数理的に処理する能力を身につける。 ・学んだ内容を学習や生活に活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・操作できる教材を準備し、日にちを確認できるようにする。
4	数えてみよう 数比べ	11	○	<ul style="list-style-type: none"> ・整数 ・比較 ・何番目 	<ul style="list-style-type: none"> ・数量の理解ができる。 ・簡単な加法の意味や性質を知る。 ・数の表し方や比較の仕方などを考えることができる。 ・授業で学んだ事柄を日常生活や学習で活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な教材を用い、実生活に応用できるようにする。 ・タブレット端末を使用し、計算アプリで学習をする。
6	形と色で分けよう	11		<ul style="list-style-type: none"> ・図形の分類 ・図形の判別 	<ul style="list-style-type: none"> ・三角形や四角形、円などの基本的な図形を理解する。 ・図形と色とを、分類することができる。 ・身の回りの事象を図形の性質から関連付けて考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・模型を使用し、比較、分類しやすいようにする。
9	大きさを比べてみよう	14		<ul style="list-style-type: none"> ・身近なものの大きさ、量比べ ・2つの物の比較 ・大小、多少 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにおける大きさや重さの意味について理解することができる。 ・身の回りの事象を、量に着目して捉え表現することができる。 ・量の大小や多少について理解をし、日常生活で活用できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近にある物の他に、自分たちで作ったものを比較し、体験を通して学べるようにする。
11	データの測定	14		<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な表やグラフの表し方 ・表やグラフの読みとり 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにおけるデータを簡単な表やグラフに表すことができる。 ・データの特徴に着目して簡潔に表現できる。 ・データの活用によさに気付き、そのことを生活や学習に活かそうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・データの例として生徒の好きな物や身近な物を挙げ、生徒が自主的に取り組めるようにする。
1	今何時？	14	○	<ul style="list-style-type: none"> ・アナログ時計の読み方 ・デジタル時計の読み方 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間の単位について知る。 ・日常生活に必要な時刻や時間を求めることができる。 ・授業開始の時間など、日常生活で時計を読むとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時計アプリを活用して、時計を読む練習をする。
3	高さや長さを比べてみよう 1年間のまとめ	6		<ul style="list-style-type: none"> ・高さ・長さの単位 ・高さ・長さ比べ ・高さ・長さの計測 	<ul style="list-style-type: none"> ・高い・低い、長い・短い概念を理解することができる。 ・物の長さを比べ、どちらが長い(短い)かを判断することができる。 ・物の高さを比べ、どちらが高い(低い)かを判断することができる。 ・積極的に、身の回りの物の長さを図ろうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身長を比べたり、教室にある物を計測したりして、身近に感じられるようにする。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和6年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部	中学部		学 年	1年		
教科等名	数学		グループ名	2グループ		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 数の大小が分かり、繰り上がりのない1桁の加法や繰り下がりのない1桁の減法ができる。 教室にある物の長さや重さ、図形などを比べ、結果を表やグラフを用いて考察することができる。 時計やカレンダー、図形などの数学的内容に興味をもち、課題に自ら取り組むことができる。 					
担当教員	○大出 彩乃 古山 隆 田宮 美貴					
年間授業時数	70					
使用教科書	教育出版「数学☆☆☆☆」					
月	単元(題材)名	指導時数	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
通年	カレンダーを読む、 作ろう 時計を読む 計算しよう	通年	○	<ul style="list-style-type: none"> 暦、曜日の理解 日にちの読み方 季節、行事の理解 アナログ時計の正時、30分、10分の理解 繰り上がりのある加法、繰り下がりのない1桁の減法 計算機の利用 	<ul style="list-style-type: none"> 繰り上がりのある2桁の加法や、繰り下がりのない1桁の減法、繰り上がりのない2桁の筆算ができる。 アナログ時計を操作し、指定された時刻の30分後、10分後を求めることができる。 カレンダーや時計の読み方を理解し、日常生活のスケジュールを把握することに活かす。 	<ul style="list-style-type: none"> 計算アプリを使用する。 アナログ時計を操作し、時計の読み方を確認する。 拡大した教材を提示し、全員で確認できるようにする。
4	数の表し方を知ろう 数の大きさを比べよう	5	○	<ul style="list-style-type: none"> 位置の理解(上下左右) 100の位までの数唱 2つの数の大きさの比較 	<ul style="list-style-type: none"> 1～100までの数の読み方を覚え、正しく数えることができる。 2つの数を比べ、どちらが大きいか考え、判断することができる。 数量にすすんで関わり、学んだことを生活に活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 数の学習アプリを使用する。 1桁同士、1桁と2桁の数の比べ方を示す。 カレンダーに書かれている数を比較す
5 6	長さ、重さを比べよう 色々な単位を知ろう	15		<ul style="list-style-type: none"> 靴のサイズ、身長、文房具の測定 単位の種類(cm、m、g、kg)の理解 	<ul style="list-style-type: none"> 定規やデジタルスケールの使い方が分かる。 長さ、重さ及びかさについて、およその見当を付け、単位を選択し、表現することができる。 教室にあるものから測定したいものを2つ選び、長さや重さを比べる。 	<ul style="list-style-type: none"> 定規のメモリの読み方や、スケールでの測り方を順序立てて示す。 それぞれの単位で測る物の見本を示す。 測りやすいように、事前に教室内の物から四角形の物を選んでおく。
7 9	グラフから読み取ろう グラフを作ろう	10		<ul style="list-style-type: none"> 表、グラフの読み方の理解 データ収集 表、グラフの作成 	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りにある数量を、表やグラフに表すことができる。 グラフから、1番少ないものや1番多いものを読み取ることができる。 教室にある物の数量を調べ、グラフにまとめた結果を発表することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 食べ物や動物、教室にある物など、生徒の身近な物をデータとして挙げる。 グラフの読み方を確認する。 文房具や衣類など、グラフにまとめるデータのテーマを指定する。
10 11	いろいろな形を作ろう	15		<ul style="list-style-type: none"> 図形の性質(頂点、辺、角の数)の理解 図形の分類 図形の作成 	<ul style="list-style-type: none"> 四角形(正方形、長方形)、三角形(直角三角形)、丸の性質を理解し、図形を分類したり、作図したりすることができる。 三角形を組み合わせて、「魚」「船」などの形を作ることができる。 教室から正方形や長方形、直角三角形に分類する物を探ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> マス目のある用紙を使う。 複数の色の三角形を使うことで、組み合わせやすくする。 正方形、長方形、直角三角形の見本を画用紙で作成する。
12 3	数のまとまりを計算しよう 1年間のまとめをしよう	25	○	<ul style="list-style-type: none"> 10、100、1000のまとまりの計算 位取りの理解 1年間の学習を振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> 位取りを理解し、10、100、1000のまとまりで計算することができる。 1の位から順に位を合わせて、計算することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 計算アプリを使用する。 位ごとに分けた計算シートを使用する。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和6年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部	中学部		学 年	1年		
教科等名	数学		グループ名	3グループ		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。 日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 数学的活動の楽しさや数学のよさに気づき、学習を振り返ってよりよく問題を解決しようとする態度、数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。 					
担当教員	○桐山 知行					
年間授業時数	70					
使用教科書	教育出版「数学☆☆☆☆」					
月	単元(題材)名	指導時数	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
4 5	いくつといくつ あわせていくつ ふえるといくつ	11	○	<ul style="list-style-type: none"> 10までの数の合成分解 1～10までの数の大小、系列 0の意味 加法の意味 加法計算 	<ul style="list-style-type: none"> 「10は3と7」などの、いくつといくつがわかる。 1つもないことを、0と表すことができる。 数を合わせたり、増えたりすることの意味を理解して、計算することができる。 学んだ加法計算を活用して、問題を解こうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ブロックを用いて、いくつといくつに分けられるか考える。 輪投げの結果を見て、0という数について理解できるようにする。 計算アプリを活用して、計算練習を行う。
6 7 9	のこりはいくつ 大きさをくらべよう 10より大きい数 カレンダー学習 長さ・重さを比べよう	18	○	<ul style="list-style-type: none"> 減法の意味 減法計算 0を含む加減法 10といくつ 順序や位置を数で表すこと 長さ・重さの概念 長さ・重さの測定 長さ・重さを数値化して表すこと 	<ul style="list-style-type: none"> 数が減少したり、2つの数の差の意味を理解して、計算することができる。 数の大小を理解する。 繰り上がり、繰り下がりのない加減法ができる。 2ずつや5ずつまとめて数えることができる。 まとめて数える方法を活用して、様々な物を数えようとする。 カレンダーを読むことができる。 定規やはかりの目盛りの読み方を理解する。 長さ・重さを計測して、単位で表すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 2種類の動物の数の差を絵で見比べて見て、差を求める。 紙テープに写し取った長さを貼って、長さを比べる。 タブレット端末を使って計算問題などを解く。
10 11 12	時計を生活に生かそう 3つの数の計算 グラフから読み取る	21	○	<ul style="list-style-type: none"> 時間と時刻の概念 午前と午後 3つの数の加減混合式 アンケートの作成 データのグラフ化 	<ul style="list-style-type: none"> 時刻と時間の意味を理解する。 午前と午後の意味や、日時を理解する。 授業開始の時刻など、日常生活に関わりのある時間を読むことができる。 3つの数の加減混合式の表し方や、計算の仕方を理解する。 アンケートを取り、アンケート結果をグラフで表すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> イラストを見て時間と時刻の違いを考える。 時計のアプリを活用して、時計を読む練習をする。 容器に入っているコップを単位として、「いくつ分」と数えて比較する。
1 2 3	大きい数について学ぼう(足算と引算) どちらが広い かたちづくり 1年間のまとめ	20	○	<ul style="list-style-type: none"> 大きい数の表し方や計算 数さがしビンゴ 金銭で表す 広さ比べ 三角形、四角形で図の構成 格子点を結んで図を描く 	<ul style="list-style-type: none"> 数直線で100までの数の系列や大小を理解する。 日常生活を想定した場面で、100までの数を数えようとする。 3位数の数え方や位取りの原理と記数法を理解して、計算することができる。 繰り上がり、繰り下がりのある加減算ができる。 直接比較やますの数で、面積を比べることができる。 身の回りにある物の形の特徴をとらえ、色板を並べていろいろな図形を構成することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 10円が10枚で100円など、大きな数を想像しやすくする。 カードを重ねたり、ますを数えたりして、面積を数える。 色板を使って、図形の構成や分解を行い、いろいろな図形ができることを確認する。 タブレット端末を使って広さを比べる。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和6年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部	中学部		学 年	1年		
教科等名	数学		グループ名	4グループ		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・足し算、引き算、掛け算、割り算の力を高め、大きな数も扱えるようになる。 ・計算や図形・グラフなど、日常生活で数学的な考え方を生かせるようになる。 ・数学の楽しさやよさに気づき、進んで学習に向かう態度を養う。 					
担当教員	○佐野 堅太 松永 和也					
年間授業時数	70					
使用教科書	教育出版「数学☆☆☆☆」					
月	単元(題材)名	指導時数	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
通年	計算しよう 考えて答えよう	通年	○	・四則演算の計算をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・足し算、引き算ができるようになる。 ・掛け算・割り算ができる。 ・計算機を使って計算ができる。 ・学習や生活の中で計算を活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態に応じて、計算問題を提示する。 ・問題にイラストなどを付け、数量をイメージして計算ができるように配慮する。 ・計算アプリを活用する。
4	オリエンテーション 計算力テスト	5	○	・年間の授業の進め方、ルールを確認する。 ・足し算、引き算、掛け算、割り算などの計算力のテストを行う。□	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間の授業の見通しをもつ。 ・授業で守るルールなどを確認する。 ・昨年度1年間で頑張った計算について振り返るとともに、今年度頑張る分野について目標をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発言は挙手し、指名されてから行うなど、具体的にルールを伝える。
5 6	大きさをくらべよう カレンダー学習	9	○	・大小の比較 ・順序や位置を数で表すこと ・何日前(後)、何週間前(後)	<ul style="list-style-type: none"> ・数の大小を理解する。 ・カレンダーを読むことができる。 ・月予定などを利用して、何日後、何週間後など、実生活を意識して活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イラストを使って、大小が分かりやすいワークシートを作成する。 ・学校の月予定を活用する。
6 7	長さを測ろう 重さを比べよう	8	○	・長さの単位を知る ・重さの単位を知る ・定規を使って測定する ・はかりを使って測定する ・測定した数値を記録する	<ul style="list-style-type: none"> ・長さや重さの単位を知ることができる。 ・定規を使って長さを正確にはかることができる。 ・はかりを使って目盛りを読み取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書や水道水など、身近なものを利用する。
9 10	表を作ろう グラフを作ろう	14	○	・表、グラフの表し方を知る ・アンケートを作成し、集計する。 ・棒グラフでデータをまとめる	<ul style="list-style-type: none"> ・表を読み取ることができる。 ・身近なデータを表にまとめることができる。 ・学習や生活の中で身近にあるデータを表にまとめたり、棒グラフにしてを求めようとしたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に生かせるように、気温やアンケートなど、身近なものを題材にした活動を取り入れる。
11 12	時計の読み方	14	○	・アナログ時計の読み方 ・○分前、○分後	<ul style="list-style-type: none"> ・アナログ時計を読むことができる。 ・時計の模型や計算をして、○分前、○分後の問題を解くことができる。 ・学習や生活の中で、時間を意識して生活することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時計の模型や、時計の学習アプリを取り入れる。
1 2	大きな数について学ぼう かたちづくり	14	○	・位取りの考え方を生かした加法・減法を学ぶ(4桁までの筆算) ・大きな数について、読み方や表し方を知る。 ・図形の種類や特徴を知る ・複数の形を組み合わせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・千、万の位を理解する。 ・5桁までの数字を正しく数えることができる。 ・複数の形を使って、図形を組み合わせることができる。 ・学習や生活の中で図形の特徴を意識して、活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・硬貨や紙幣など具体物を操作する。 ・生活の中でのデータを利用する。 ・身の回りにあるものの形を利用する。
3	1年のまとめをしよう	6	○	・1年間で習ったことを復習し、得意な分野を見付ける。 ・苦手な分野の復習をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・復習を行い、自分の得意な分野を見付けて発表する。 ・付けた力をさらに伸ばす。 ・苦手な分野を復習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間で学習した内容をワークシートにまとめて提示し、学習内容の定着を図る。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。